

## 113 庄内川のアーチ橋群

河川—土木

鹿乗橋 河川/春日井市高蔵寺町—瀬戸市鹿乗町/上路ブレースド2ヒンジアーチ（コンクリートアーチ）/  
明治43年（1910）/施工 愛知県  
城嶺橋 河川/春日井市玉野町—瀬戸市定光寺/上路RCアーチ/昭和12年（1937）/施工 愛知県

### 鹿乗橋

名古屋市の北縁を流れる庄内川を、高蔵寺までさかのぼれば愛岐丘陵の溪谷に近づく。鹿乗橋は明治43年（1910）に完成のブレースド2ヒンジアーチであった。支間は $2 \times 27.3\text{m}$ 。昭和25年（1950）頃、「架設後40年以上になり、鉄骨が腐食し、強度が半分の55%までに低下した。そのため、鉄筋コンクリートにて被覆し補強」された。

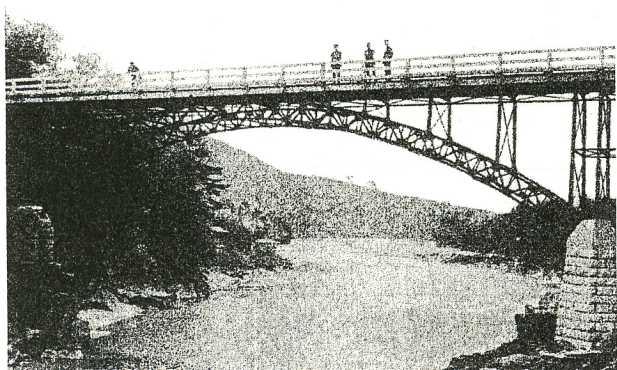


写真1 大正の頃の鹿乗橋（土木学会ライブラリ）

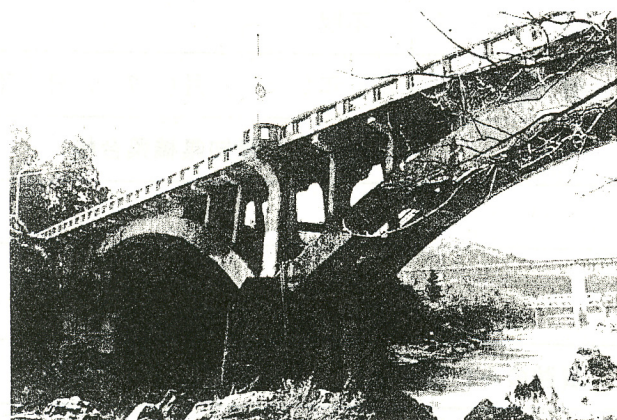


写真2 コンクリート補強された鹿乗橋（土木学会ライブラリ）

### 〈参考文献〉

清水 保「二鉸式拱橋鹿乗橋の鉄筋コンクリートによる補強」  
土木技術7巻12号 1952

### 城嶺橋

定光寺は玉野川（庄内川）の景勝地であり、名古屋の奥座敷と呼ばれた。ここに、瀟洒なコンクリートアーチ橋がある。支間は $23.8+24.26+23.8\text{m}$ 。



写真3 城嶺橋（土木学会ライブラリ）

明治43年（1910）に木橋を架けると、翌年の大水で流出してしまい、大正元年に吊り橋で復旧する。昭和12年（1937）、その直下に京都四条大橋を模してコンクリートアーチ橋が架かった。尾張徳川家19代義親氏による「城嶺橋」の揮毫を親柱に持つ。

大正期の水平線、垂直線を強調する「セセッション」風デザインであった「まぼろしの四条大橋」の面影を、ここ城嶺橋に留めていることは貴重である。なを、四条大橋は昭和17年（1942）架けかえられている。（近藤 昇）

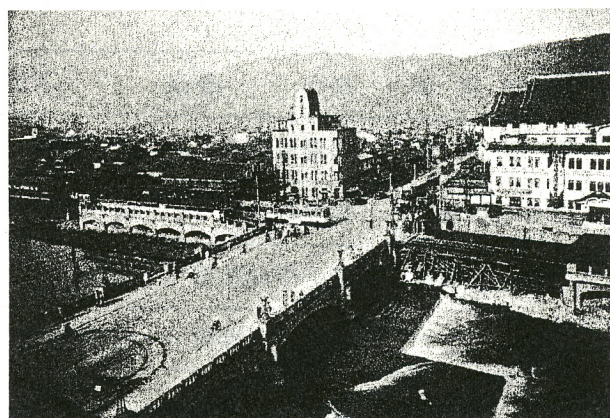


写真4 四条大橋 京都府立総合資料館・京都北山アーカイブ・黒川翠山撮影資料